

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 94 2015年12月

発 行：日本信頼性学会
東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル4階
一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

【速報！】 日本信頼性学会 2015年度第1回フォーラム 「交通システムのメンテナンス -安全で安定した輸送を目指して-」

(日 時) 2016年2月1日(月) 13:00~17:30(予定)
(場 所) 日本科学技術連盟 東高円寺ビル地下1階講堂(東京都杉並区高円寺南1-2-1)
http://www.juse.or.jp/upload/files/map_koenji_data0227.pdf
詳細は、決定次第、学会ホームページに、また学会誌1月号「お知らせ」にも掲載いたします。

【速報！】 日本信頼性学会 2015年度第2回見学会

(日 時) 2016年2月18日(木) 14:00~16:00(予定)
(場 所) 日本信号株式会社 久喜事業所(埼玉県久喜市江面字大谷1836-1)
<http://www.signal.co.jp/aboutus/map/map08.html> を参照
詳細は、決定次第、学会ホームページに、また学会誌1月号「お知らせ」にも掲載いたします。

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

当研究会は、信頼性シンポジウム、学会誌『信頼性』、解説書(『ライフサイクルコストリング—研究会は、信頼性シンポジウム導入と適用事例—』)の発行を通じて、Lcc (Life cycle costing)に関する様々な研究成果を発表するとともに、Lccの啓発活動もおこなっています。

年に4回ほど、原則として金曜日の夜に東高円寺の日科技連ビルに集まり、2時間にわたる研究会を開催しております。前半の1時間は情報交換と称し、各メンバーが前回研究会から研究会当日までの間に収集したLccに関する情報提供などを行います。後半の1時間は毎回担当を決めて各自の最新の研究成果を報告し、質疑応答および討論を行います。なお、研究会メンバーだけではなく外部からゲストスピーカーを招き、Lccに関連性のあるトピックスで講演いただく場合もあります。当研究会以外のメンバーの参加も大歓迎です。

私たちと一緒にLccの研究を進めてくださる仲間を募集しています。Lccに少しでも関心がある方は、ぜひ研究会の会場にお越しください。お待ちしております。

(日 時) 2016年3月18日(金) 18:00~20:00
(場 所) 日本科学技術連盟 東高円寺ビル会議室(杉並区高円寺南1-2-1)

(東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅から青梅街道を新宿方向へ徒歩約5分、「和田三丁目」交差点手前)

(連絡先) 研究会主査 門奈 哲也 ged01402@nifty.com
同 副主査 夏目 武 natsume@kiu.biglobe.ne.jp

詳細は、http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45 をご参照ください。

日本信頼性学会 故障物性研究会 2月例会 (第124回)

(日 時) 2016年2月12日(金) 13:00~17:00

(場 所) 日本科学技術連盟 本部 (東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル4階)

http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map_honbu.pdf

議題等の詳細は、学会誌1月号「お知らせ」および学会ホームページに掲載いたします。

日本信頼性学会関西支部 2015年度 第3回見学会

(日 時) 2016年3月4日(金) 13:00~17:30

(見学先) 株式会社 アイテス

〒520-2362 野洲市市三宅 800 番地

同事業所 HP <http://www.ites.co.jp/>

(集 合) 京セラ(株) 野洲工場正門にて受付・正面ロビーに、13:00までにご集合下さい

(交 通) JR 琵琶湖線 野洲駅 北口から徒歩5分 京セラ(株) 滋賀野洲工場内

案内図 <http://m.kyocera.co.jp/company/kojo/yasujigyousyo.shtml>

(概要)

株式会社アイテス様は、日本アイ・ビー・エム野洲事業所の品質保証部門を母体として1993年に設立され、半導体、実装基板、電子部品などの分析解析・信頼性評価の受託業務を行われています。また、太陽光パネルのEL画像検査装置や設置された太陽光パネルの保守点検装置の製品化で、この分野での豊富な実績を持たれていますので、大変興味深いお話が期待されます。特に、近年注目されるSiC、GaNの次世代パワーデバイスの解析技術についてのご紹介など、豊富な内容の見学会となっております。またとない貴重な機会ですので、是非多くの方のご参加をお待ちしております。

(内 容)

1. 事業所説明 13:15-13:30
2. 講演 (1) 13:30-14:30 先端パワーデバイスに関する故障解析、およびその周辺技術のご紹介
～SiC、GaN デバイス解析に有用な技術・手法の解説、他～
(2) 14:30-15:30 太陽光発電所で今何が起きているか
～ソーラーパネルの不具合と20年以上の発電を維持するための保守、点検方法～
3. 現場見学
(1) 15:30-16:30 分析・解析・信頼性評価ラボの見学
(2) 16:30-17:15 太陽光パネル設置現場での検査技術のデモ
4. まとめ 17:15-17:30

(参加費) 会員および学生：無料 非会員：2,000円

(申込先) 日本信頼性学会 関西支部 事務局 [植村]

〒530-0003 大阪市北区堂島 2-4-27 新藤田ビル 11 階

(一財)日本科学技術連盟 大阪事務所 内

Tel : 06-6341-4627 Fax : 06-6341-4615 E-mail : reaj-kansai@juse.or.jp

(申込方法) 氏名, 会社名, 所属, 所在地, 電話番号, メールアドレス, 会員番号 (非会員の場合は一般と記入) を記入の上, 当学会ホームページからお申込みください.

日本信頼性学会 HP <http://www.reaj.jp/>

(申込締切) 2016 年 2 月 26 日 (金)

注: 参加人数は 20 名以内とします. 定員になり次第締め切ります.

同業他社の方はご遠慮ください.

第 37 回安全工学セミナー (化学品を扱うプロセスの災害防止)

(日 時) 安全マネジメント講座 2016 年 1 月 14 日 (木), 15 日 (金) 化学会館

(主 催) 安全工学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 化学会館会議室 東京都千代田区駿河台 1-5

(問合先) 特定非営利活動法人安全工学会 事務局

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-2 アロマビル 6F

TEL 03-6206-2840 FAX03-6206-2848 E-mail : jsse-2004@nifty.com

詳細は, <http://www.jsse.or.jp/> または, 下記 URL よりご参照ください.

http://www.jsse.or.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=multidatabase_view_main_detail&content_id=519&multidatabase_id=1&block_id=24#_24

第 16 回「安全・安心のための管理技術と社会環境」ワークショップ —事故調査の社会的役割と進め方—

(日 時) 2015 年 12 月 25 日 (金) 13:00~17:30

(会 場) 日本科学技術連盟 東高円寺ビル 2 階講堂

http://www.juse.or.jp/upload/files/map_koenji_data0227.pdf

(主 原) 日本原子力学会, 社会・環境部会, 日本原子力学会, ヒューマン・マシン・システム研究部会, 日本品質管理学会, 日本人間工学会, 安全人間工学委員会

(後 援) 日本信頼性学会 他

(参加費) 2,000 円 (当日払, 税込) (当日配付資料代+後日作成の報告書(PDF)代)

(開催趣旨) 運輸, 医療, 原子力などの社会基盤分野において安全・安心を確保するためには, ハードの健全性だけでなく, ヒューマンファクターや組織のマネジメントなどのソフト面にも目を配ることが必要である. しかし, 多くの研究が行われてきたにもかかわらず, ソフト面に起因する事故・トラブルが少なくない. 本シンポジウムは, 安全・安心のための管理技術と社会環境に関する研究の現状と課題, 事業者と規制当局の関連する事項の実施状況と課題などを持ち寄り, 関係者で認識を共有した上で, 行うべき研究の課題や方向性, 事業者や規制当局が実施すべき事項などを充実するための手がかりを得たいという思いで, ヒューマンファクター, 品質マネジメント, 社会技術の 3 つの学問分野の専門家が集まり, 平成 19 年 3 月以来継続的に開催してきた.

16 回目となる今回は、「事故調査」をテーマに取り上げる。業務を行うプロセスや組織のマネジメントの視点から事故の原因を掘り下げ、その内容を業界・社会で共有し、再発防止・未然防止に活用することは重要である。しかし、事故の大半には様々な人の行動が関わっており、被害者の理解・納得を得たり、個人の責任を追及したりするための手段としても期待されている。本ワークショップでは、異なった領域の実務家・専門家からの事例発表をいただいた上でパネルディスカッションを行い、事故調査の現状を概括し、難しさがどこにあるのか、それを乗り越えるためのポイントは何かを議論し、事故調査を適切に実践し、活用していくために、社会として目指すべき姿、今後の取り組みの方向性を明らかにしたい。

(申込先) 申込はこちら→ <http://www.jsqc.org/q/news/2015/12/25/order98/order.html>

または、氏名、所属、連絡先を付して 12 月 18 日 (金) 17:00 までにお申し込みください

→ apply@jsqc.org

(連絡先) 日本品質管理学会 事務局

〒168-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 日本科学技術連盟内

TEL 03-5378-1506 FAX 03-5378-1507

詳細は、<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h271225> をご参照ください。

2016 年新春 PM セミナー

(日 時) 2016 年 1 月 15 日 (金) 13:30~16:30

(主 催) プロジェクトマネジメント学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他 FMES 構成学会

(会 場) きゅりあん (品川区立総合区民会館) 小ホール

(〒140-0011 東京都品川区東大井 5-18-1 <http://www.shinagawa-culture.or.jp/>)

(参加費) 無料 (どなたでも参加いただけます)

(PDU) 2.5 PDU 発行予定

(問合先) PM学会事務局 <https://www.spm-hq.jp/contact/> よりお問合せください。

〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABC ビル 2 階 FAX 050-3588-6935

詳細は、<http://spm-hq.jp/event/detail.php?id=135> よりご参照ください。

第 20 回情報システム学研究科シンポジウム 「信頼性とシステム安全学」

(日 時) 2016 年 3 月 1 日 (火)

(主 催) 電気通信大学院情報システム学研究科, 田中健次研究室, 鈴木和幸研究室

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 電気通信大学西 10 号館 (IS 棟) 2F 大会議室

(〒140-0011 東京都品川区東大井 5-18-1 <http://www.shinagawa-culture.or.jp/>)

(参加費) 無料 (予稿集付き)

シンポジウムへの事前お申込は不要です。

懇親会は有料です。懇親会参加予定の方はメールにてご連絡ください。

(E-mail 宛先: applyss@tanaka.is.uec.ac.jp)

(発表申込) 講演題目 (仮でも可), 論文著者リスト, 講演概要 80 字程度まで, 連絡先を applyss@tanaka.is.uec.ac.jp まで電子メールにてお送りください。

(問合先) 電気通信大学大学院情報システム学研究科 田中健次氏
調布市調布ヶ丘 1-5-1 E-mai : tanaka@is.uec.ac.jp
発表論文執筆要項等の詳細は、<http://goo.gl/jUNRcI> よりご参照ください。

2016 年春季シンポジウム (第 75 回)

(日 時) 2016 年 3 月 16 日 (水)
(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 慶應義塾大学 日吉キャンパス 協生館 藤原洋記念ホール
(テーマ) 東京オリンピック・パラリンピック
(問合先) 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会 事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-51 サン・チカビル 7F
TEL 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 E-mail:jimukyoku@orsj.or.jp
詳細は、<http://www.orsj.or.jp/~nc2016s/symposium.html> よりご参照ください。

2016 年春季研究発表会

(日 時) 2016 年 3 月 17 日 (木) ~18 日 (金)
(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 慶應義塾大学 矢上キャンパス
(OR 学会統一テーマ) 東京オリンピック・パラリンピックと OR
(発表会特別テーマ) 実学で切り拓く OR
(発表申込期間) 2015 年 12 月 1 日 (火) ~2016 年 1 月 7 日 (木)
(問合先) 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会 事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-51 サン・チカビル 7F
TEL 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 E-mail:jimukyoku@orsj.or.jp
詳細は、<http://www.orsj.or.jp/~nc2016s/> よりご参照ください。

安全工学シンポジウム 2016

日本学術会議主催「安全工学シンポジウム 2016」は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等の開催が予定されております。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

(日 時) 2016 年 7 月 7 日(木)~8 日(金)
(会 場) 日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34) 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅
(主 催) 日本学術会議 総合工学委員会
(共 催) 日本人間工学会他 31 学協会
(発表申込締切) 2016 年 3 月 11 日(金) 予稿原稿締切 2016 年 5 月 20 日(金)
(参加登録予約申込締切) なし。当日直接会場にお越し下さい。

(発表形式) 口頭発表 (1 題 20 分 (講演 15 分, 討論 5 分)) のみ

(発表申込方法) 安全工学シンポジウム 2016 ホームページよりお申し込み下さい。

(予稿原稿) 審査の結果, 採択された講演については, A4 判 2 頁または 4 頁の原稿を PDF 形式で提出していただきます。

(参加登録費) 無料。講演予稿集は希望者に配布します。

(予価 1 部 5,000 円。但し, 学生は 1 部 2,000 円)

(注意事項) 会場内における参加者個人での録音, 撮影は禁止いたします。

(申込先・問合せ先) 日本大学生産工学部 鳥居塚研究室

TEL047-474-2615 (直通) FAX 047-474-9759

E-mail : anzen2016@gakkai-web.net

詳細は, <http://www.anzen.org/index.html> をご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
第 16 回「安全・安心のための管理技術と社会環境」ワークショップ —事故調査の社会的役割と進め方—	日科技連 東高円寺ビル	2015/12/25		http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h271225
第 37 回安全工学セミナー (化学品を扱うプロセスの災害防止) 安全マネジメント講座	化学会館 千代田区	2016/1/14-15		http://www.jsse.or.jp/
2016 新春 PM セミナー	きゅりあん 品川区	2016/1/15		http://spm-hq.jp/event/detail.php?id=135
<u>2015 年度第 1 回フォーラム</u>	日科技連 東高円寺ビル	2016/2/1		
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 本部 (西新宿)	2016/2/12		http://www.reaj.jp/
<u>2015 年度第 2 回見学会</u>	日本信号 (株) 久喜事業所	2016/2/18		
第 20 回情報システム学研究科シンポジウム 「信頼性とシステム安全学」	電気通信大学 調布市	2016/3/1		http://goo.gl/jUNRcI
<u>関西支部 2015 年度第 3 回見学会</u>	(株) アイテス 野洲市	2016/3/4		http://www.reaj.jp/
2016 年春季シンポジウム (第 75 回)	慶応義塾大学 日吉キャンパス	2016/3/16		http://www.orsj.or.jp/~nc2016s/symposium.html
2016 年春季研究発表会	慶応義塾大学 矢上キャンパス	2016/3/17-18	2016/1/7	http://www.orsj.or.jp/~nc2016s/
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 東高円寺ビル	2016/3/18		http://www.reaj.jp/
日本計算機統計学会 第 30 回大会	ハートピア京都 京都市	2016/5/19-20		http://jscs.jp/
The 4th Institute of Mathematical Statistics Asia Pacific Rim Meeting (IMS-APRM 2016)	The Chinese University of Hong Kong	2016/6/27-30	2015/12/31	http://ims-aprm2016.sta.cuhk.edu.hk/
安全工学シンポジウム 2016	日本学術会議 港区六本木	2016/7/7-8	2016/3/11	http://www.anzen.org/index.html
日科技連 第 46 回 信頼性・保安全性シンポジウム	日本教育会館 千代田区	2016/7/14-15	2016/2/5	https://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/46rms